



2020年10月30日

各位

会社名 東武鉄道株式会社
 代表者名 取締役社長 根津 嘉澄
 (コード番号 9001 東証第1部)
 問合せ先 財務部課長 野口 洋輔
 (TEL. 03 - 5962 - 2183)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年7月30日に公表した2021年3月期通期業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）について最近の業績動向等を精査した結果、予想が変動する見通しとなったため、業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 535,000	百万円 0	百万円 △1,400	百万円 △8,200	円 銭 △39.31
今回修正予想（B）	517,600	△12,900	△12,000	△21,200	△101.62
増減額（B - A）	△17,400	△12,900	△10,600	△13,000	—
増減率（%）	△3.3	—	—	—	—
（参考）前期実績 （2020年3月期）	653,874	62,653	58,414	35,530	168.84

2 2021年3月期通期個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 182,500	百万円 17,700	百万円 13,100	百万円 8,100	円 銭 38.83
今回修正予想（B）	171,300	9,500	4,800	△19,300	△92.51
増減額（B - A）	△11,200	△8,200	△8,300	△27,400	—
増減率（%）	△6.1	△46.3	△63.4	—	—
（参考）前期実績 （2020年3月期）	232,788	47,979	41,980	27,071	128.64

3 修正の理由

今後の見通しにおける新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、その収束については予断を許さないものの、緊急事態宣言の再発出等による社会的制限が実施されないことを前提としており、当社グループへの影響は足元の事業環境をベースに段階的に収束へ向かいながらも、新しい生活様式を踏まえた企業や個人の行動の変化による影響は当期末まで一定程度残るものと仮定し、業績予想を算定いたしました。

(1) 通期（連結）

東武百貨店における臨時休業から営業再開後の反動増等による増収要因があるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う出控えや渡航制限の継続等により、鉄道やバス利用者の減少並びにホテル稼働率及び旅行需要の低迷等、当社グループの業績の回復は当初想定以上の悪化を見込んでおります。また、連結子会社に係るのれんの一時償却による特別損失等を反映した見通しとしております。

(2) 通期（個別）

新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う出控えや渡航制限の継続等により、鉄道利用者の減少及びホテル稼働率の低迷等、当社の業績の回復は当初想定以上の悪化を見込んでおります。また、関係会社株式評価損及び関係会社の損失に備えるための引当金に係る特別損失等を見込んだ見通しとしております。

なお、上記（1）における連結子会社に係るのれんの一時償却及び（2）における関係会社株式評価損の詳細につきましては、本日（2020年10月30日）別途公表の「特別損失計上に関するお知らせ」をご覧ください。

また、業績予想の詳細につきましては、本日別途公表の「2021年3月期第2四半期決算短信」及び「2021年3月期第2四半期決算補足説明資料」をご覧ください。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想値と異なる可能性があります。

以 上